

学年	中学3年	教科	国語	科目	国語	単位数	5
教科書名	国語3(光村図書)			副教材名	常用漢字の級別学習コンプリート新装版(京都書房) 国語活用資料集(新学社) 漢文名文選故事成語編(筑摩書房) 新精選古典文法改訂版(東京書籍) よむナビ現代文基礎編1三訂版(いっぴな書店)		
コース・クラス	中高一貫						

I. 目標

国語で適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにする。書かれているものの背景への認識を深め、言葉を尊重し、その向上を図る態度を育てる。

II. 授業のねらい

- 1 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめる力をつける。また、文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えを持たせる。
- 2 説得力ある意見を述べる力を身に付けるため、多方面に検討する材料を多様な方法で集め整理させる。それにより、自分の考えを深めると共に、他者の考えと比較させることで、広い視野を持つ人物を育てる。
- 3 百人一首をはじめとする古典作品に触れることで、古語や古典文法、言い回しなどの古文特有の表現、時代背景に興味を持たせる。
- 4 漢文特有の表現やリズム、時代背景といった漢文の世界に興味を持たせる。

III. 授業の進め方

- 1 前回の授業内容の復習を前提とし、発問していく形式を取る。またグループ学習も適宜取り入れていく。
- 2 文章の内容や構成、表現方法を理解することを主とし、電子黒板やiPadなど様々なツールを活用する。
- 3 古文では『新精選古典文法』、漢文では『漢文名作50選』を使用し、古典文法や漢文句法の導入を行う。
- 4 初見問題、検定対策など演習の時間を多く取る。また、小テストなど実力を確認できるものを随時取り入れていく。

IV. 学習上の留意点

- 1 配布したプリントはノートに貼るかファイリングし、整理・保管しておく。
- 2 積極的に発言し、必要な情報をノートにまとめる。
- 3 小テストの計画表を確認し、必ず事前に対策を行う。

V. 定期試験（状況によって変動する場合がある）

- ・1学期中間試験…『握手』、俳句、「和語・漢語・外来語」、百人一首、初見問題
- ・1学期期末試験…『作られた「物語」を超えて』、『挨拶』、百人一首、漢文、初見問題
- ・2学期中間試験…『人工知能との未来』、『人間と人工知能と創造性』、『おくのほそ道』、百人一首、初見問題
- ・2学期期末試験…漢文、『論語』、『誰かの代わりに』、『故郷』、百人一首、初見問題
- ・学年末試験 …古典文法（用言）、『万葉集』、『古今和歌集』、『新古今和歌集』、『高瀬舟』、百人一首、漢文、初見問題

VI. 評価の方法

- 1 定期試験・学力推移調査…授業内容をしっかりと理解し、それを応用することができる。
- 2 小テスト…計画的に自学自習を行い、意欲的に小テストに臨むことができる。
- 3 提出物…積極的に授業に参加し、課題に対して期限を守り、真摯に取り組むことができる。

Ⅶ. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	『握手』	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・学力推移調査 ・小テスト ・提出物 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品に描かれた人物の言動に着目し、心情を読み取る。 ・作品の展開を踏まえて人物像を捉える。 ・俳句の技法や構成を理解し、リズムに親しむ。 ・和語・漢語・外来語の特徴について理解する。 ・置き字について学習する。
	5	『俳句の可能性』 『俳句を味わう』 和語・漢語・外来語 百人一首 置き字		
	6	『作られた「物語」を超えて』		
	7	報道文を比較して読もう 『挨拶一原爆の写真によせて』 百人一首		
一学期	9	『人工知能との未来』	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・学力推移調査 ・小テスト ・提出物 	<ul style="list-style-type: none"> ・段落の役割や段落どうしの関係に着目して文章の構成を捉え、内容を読み取る。 ・文中のキーワードに注意して筆者の考えを捉える。 ・文章を批判的に読み、自分の考えをまとめる。 ・具体的な題材を基に、その価値などについて評価する。 ・表現方法を考えたり、資料を引用したりして、説得力のある文章を書くことができる。 ・古典の世界に興味・関心を持つとともに古典にさまざまな種類があることを理解する。 ・歴史的仮名遣いに注意して繰り返し音読し、古典のリズムを味わう。 ・訓読に必要な決まりを知り、漢文特有のリズムを味わう。 ・返読文字について学習する。 ・「論語」に当てはまる、自身の体験または考えを関連づけ、文章にする。 ・抽象的な概念を表す語句の文脈上の意味を捉えながら読む。 ・言動やその周りの風景などから、登場人物の心情を読み取る。 ・場面展開や人物の描写に注意して作品を読み、登場人物の心情の移り変わりを捉える。 ・それぞれの人物像を理解し、作品の主題を読み取る。
	10	『人間と人工知能と創造性』 多角的に分析して書こう		
		『おくのほそ道』 百人一首		
	11	漢文の訓読 返読文字 『論語』		
	12	『誰かの代わりに』 『故郷』 百人一首		
二学期	1	古典文法（用言） 百人一首（百人一首大会）	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・学力推移調査 ・小テスト ・提出物 	<ul style="list-style-type: none"> ・用言（動詞・形容詞・形容動詞）の活用を理解する。 ・『古今和歌集』の「仮名序」を読み、当時の人々の和歌への思いを知る。 ・和歌が詠まれた背景や作者の心情を想像しながら和歌の世界に親しむ。 ・意味や修辞などに注意して鑑賞する。 ・文章の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方を捉え、人間や社会についての考えを深める。 ・作品に描かれた周囲の風景や登場人物の言動、心情を手掛かりに作品の主題を考える。 ・漢文（副教材）の読解をし、理解する。
	2	古今和歌集「仮名序」 万葉・古今・新古今		
	3	『高瀬舟』 漢文		

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。